

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公開番号】特開2015-102662(P2015-102662A)
【公開日】平成27年6月4日 (2015.6.4)
【年通号数】公開・登録公報2015-036
【出願番号】特願2013-242799(P2013-242799)
【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 Z

H 0 4 N 5/74 E

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月29日 (2016.11.29)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

リモコンから照射された光の信号を検出する受光センサを備え、該受光センサで検出した信号に基づいて、動作や設定が遠隔操作される画像投影装置において、前記受光センサを保持する保持部材と、該保持部材を中心線回りに回転可能に支持する支持部とを備え、前記保持部材は、外部に露出する部分の前記中心線に沿った各位置毎の該中心線に垂直な断面における外郭線の形状が、略円形状又は略円弧形状であることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像投影装置において、前記受光センサを保持した前記保持部材の位置は、当該画像投影装置の筐体部から突出していることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の画像投影装置において、前記保持部材は、前記中心線に対して 360 度、回転可能に設けられていることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記支持部は、投射レンズの鏡胴部であることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記保持部材は、回転しながら前記受光センサで検出した前記リモコンの信号強度に基づいて、仮の回転位置まで回転して自動的に停止することを特徴とする画像投影装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記保持部材は、当該画像投影装置の設置状態が、設置面の上に置く上置きの場合と、設置面の下に置く下置きの場合のいずれかに基づいて、仮の回転位置まで回転して自動的に停

止することを特徴とする画像投影装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一に記載の画像投影装置において、
前記保持部材は、回転しながら前記受光センサで検出した前記リモコンの信号強度が最も大きい、仮の回転位置まで回転して自動的に停止することを特徴とする画像投影装置。

【請求項 8】

請求項 5 乃至 7 のいずれか一に記載の画像投影装置において、
前記受光センサは、仮の回転位置で自動的に停止させられた後、任意の回転位置に変更可能に設けられていることを特徴とする画像投影装置。